

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 玉川学園

(2) 大学名

玉川大学

(3) 大学の位置

〒194-8610

東京都町田市玉川学園六丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学部長	(カヤシマ ミチコ) 茅島路子 (平成27年4月)		
学科主任	(オオタ アキラ) 太田明 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 国語教育学科 学士(文学)	文学関係	4年	60人	年次人 -	240人	

- (注) ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学 定員 超過率	備考
	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期		
A 入学定員	人 60 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.20 倍	
志願者数	528 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	511 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	104 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	72 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.20									

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・() 内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・[] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入 してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 72	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[-] (-) 72	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・[]内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<文学部 国語教育学科>

(1) 授業科目表

※US科目…ユニバーシティ・スタンダード科目

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー101	1前	2			1	2 1			1		教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加 (29)		
	一年次セミナー102	1後	2			1	2 1			1				
	玉川の教育	1後	0.3							1				
	健康教育	1前	1								兼1			
	音楽 I	1前	0.7								兼2			
	音楽 II	1後	1								兼2			
	全人教育論	2前・後	2								兼1			
	二年次セミナー201	2前	2								兼1			
	二年次セミナー202	2後	2								兼1			
	三年次セミナー301	3前	2								兼1			
	三年次セミナー302	3後	2								兼1			
	ピアリーダー	2前・後	2								兼1			
	小計 (12 科目)	—	7	12	0	1	2 1	0		1	0		兼7	—
	ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	文化人類学	1・2・3・4前・後	2										兼1
民俗学入門		1・2・3・4後	2									兼1		
美術史		1・2・3・4前・後	2									兼1		
美術理論		1・2・3・4前	2									兼1		
ことばと文化		1・2・3・4前・後	2									兼1		
比較文化論		1・2・3・4前・後	2									兼1		
日本文学		1・2・3・4前・後	2									兼1		
外国文学		1・2・3・4前・後	2									兼1		
歴史 (世界)		1・2・3・4前・後	2									兼1		
歴史 (日本)		1・2・3・4前・後	2									兼1		
音楽史		1・2・3・4前・後	2									兼1		
音楽理論		1・2・3・4前	2									兼1		
哲学		1・2・3・4前・後	2									兼1		
倫理学		1・2・3・4後	2									兼1		
ロジック		1・2・3・4前・後	2					1						
科学史		2・3・4後	2									兼1		
宗教学		2・3・4前・後	2									兼1		
世界の宗教と文化		1・2・3・4後	2									兼1		
人間関係論		2・3・4前	2									兼1		
演劇史		1・2・3・4前・後	2									兼1		
演劇理論		1・2・3・4前・後	2									兼1		
キリスト教学		2・3・4前	2									兼1		
英語学		1・2・3・4前・後	2									兼1		
日本語学		1・2・3・4前・後	2					1 0				兼0 兼1	専任教員の新規採用に伴う担当者変更 (29)	
日本学入門		1・2・3・4前	2									兼1	US科目 (全学共通科目) がキエラA改編により科目追加 (29)	
Japanology		3・4前	2									兼1		
Japanese Pop Culture		3・4後	2									兼1		
Issues in Japanese Studies A		4前	2									兼1		
Issues in Japanese Studies B		4後	2									兼1		
人文科学アカデミックスキルズ (リーディング)		1・2・3・4前・後	1									兼1		
人文科学アカデミックスキルズ (ライティング)		1・2・3・4前・後	1									兼1		
名著講読 (人文科学)		2・3・4前・後	1					1 0		0 1			鈴木美穂 (助教) が准教授に昇格 (29)	
Modern Japanese History		3・4後	2									兼1	US科目 (全学共通科目) がキエラA改編により科目追加 (29)	
East Asian History		4前	2									兼1		
34 小計 (25 科目)	—	0	65 47	0	0	3 1	0	0 1	0	0 1	0	兼23 兼21	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学科目群	会計学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	Academic Communication	2・3・4後	2								兼1	US科目（全学共通科目）がキエツA改編により科目追加（29）
	経済学（国際経済を含む）	1・2・3・4前	2								兼1	
	国際関係論	2・3・4前・後	2								兼1	
	情報管理論	2・3・4前	2								兼1	
	法学	1・2・3・4後	2								兼1	
	市民社会と法	1・2・3・4後	2								兼1	US科目（全学共通科目）がキエツA改編により科目追加（29）
	経営学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	マーケティング	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	政治学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	心理学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	社会学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	ボランティア概論	1・2・3・4後	2								兼1	
	科学技術社会論	2・3・4後	2								兼1	
	観光学入門	1・2・3・4前	2								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1・2・3・4前・後	1								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1・2・3・4前・後	1								兼1	
	名著講読（社会科学）	2・3・4前・後	1								兼1	
	19 小計（ 17 科目）	—	0	35	0	0	0	0	0	0	兼17 兼15	—
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	情報科学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	ネットワーク入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	データ処理	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	マルチメディア表現	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	化学入門	1・2・3・4前・後	2								兼2	
	生物学入門	1・2・3・4前・後	2								兼2	
	環境科学	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	数学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	解析学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	代数学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	統計学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	物理学入門	1・2・3・4前・後	2								兼1	
	実践の物理学	2・3・4前	2								兼1	US科目（全学共通科目）がキエツA改編に伴い科目名及び配当年度変更（29）
	物理学実践	2・3・4前・後										
	科学入門	1・2・3・4前・後	2								兼5	
	地球科学	2・3・4前・後	2								兼1	
	エネルギー科学	2・3・4前	2								兼1	
	宇宙科学	2・3・4前・後	2								兼1	
	STEM入門（科学と生活）	1・2・3・4後	2								兼1	US科目（全学共通科目）がキエツA改編により科目追加（29）
	人工知能と社会	2・3・4後	2								兼1	
自然科学アカデミックスキルズ（リーディング）	1・2・3・4前・後	1								兼1		
自然科学アカデミックスキルズ（ライティング）	1・2・3・4前・後	1								兼1		
名著講読（自然科学）	2・3・4前・後	1								兼1		
22 小計（ 20 科目）	—	0	41	0	0	0	0	0	0	兼19 兼17	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目） 学際科目群	マイクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	マクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	健康スポーツ理論	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	生涯スポーツ演習	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	環境教育	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	スポーツ史	2・3・4後		2							兼1	
	オリンピック文化論	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	栄養学	3・4前		2							兼1	
	病理学	3・4前		2							兼1	
	マスメディアと社会	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	現代文化論	2・3・4前		2							兼1	
	プレゼンテーションスキル	1・2・3・4後		2							兼1	
	Presentation Skills in English	2・3・4後		2							兼1	
	Japanese Studies Overseas A	3後・4前・後		2							兼1	US科目（全学共通科目）が 改編により科目追加（29）
	Japanese Studies Overseas B	3後・4前・後		2							兼1	
	Japanese Studies Overseas C	3後・4前・後		2							兼1	
	複合領域研究 201～299	2・3・4前・後		2							兼3	
	野外教育	2・3・4後		2							兼1	
	TAPファシリテーションⅠ	1・2・3・4前・後		2							兼1	US科目（全学共通科目）が 改編により科目追加（29）
	TAPファシリテーションⅡ	1・2・3・4後		2							兼1	
	環境教育ワークショップⅠ	1・2・3・4後		2							兼1	
	環境教育ワークショップⅡ	2・3・4前		2							兼1	
	コーオプ・プログラム	2・3・4前・後		2							兼1	
	インターンシップA	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1							兼1	
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1							兼1	US科目（全学共通科目）が 改編により科目追加 (29)
	教育インターンシップA	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	教育インターンシップB	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	教育インターンシップC	1・2・3・4前・後		1							兼1	
	教育インターンシップD	1・2・3・4前・後		1							兼1	
	キャリア・マネジメント	3・4前・後		2							兼1	
	国際研究A	1後・2・3・4前・後		2							兼1	
	国際研究B	1後・2・3・4前・後		2							兼1	
	国際研究C	1後・2・3・4前・後		2							兼1	
	国際研究D	1後・2・3・4前・後		3							兼1	
	国際研究E	1後・2・3・4前・後		4							兼1	
	国際研究F	1後・2・3・4前・後		5							兼1	
	フィールドワークA	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	フィールドワークB	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	フィールドワークC	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	地域創生プロジェクトA	1・2・3・4前・後		1							兼1	
	地域創生プロジェクトB	1・2・3・4前・後		1							兼1	
	地域創生プロジェクトC	1・2・3・4前・後		2							兼1	US科目（全学共通科目）が 改編により科目追加 (29)
	地域創生プロジェクトD	1・2・3・4前・後		2							兼1	
	地域創生プロジェクトE	1・2・3・4前・後		3							兼1	
	地域創生プロジェクトF	1・2・3・4前・後		3							兼1	
47 小計（ 26 科目）		—	0	96 58	0	0	0	0	0	0	兼25 兼20	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群(全学共通科目)	言語表現科目群											
	ELF 101	1・2前・後		4								兼2
	ELF 102	1・2前・後		4								兼2
	ELF 201	1・2前・後		4								兼2
	ELF 202	1後・2前・後		4								兼2
	ELF 301	2・3・4前・後		4								兼2
	ELF 302	2後・3・4前・後 2・3・4前・後		4								兼2 US科目(全学共通科目)がキョウ 改編に伴い配当年次変更 (29)
	ELF 401	3・4前・後		4								兼1
	ELF 402	3後・4前・後 3・4前・後		4								兼1 US科目(全学共通科目)がキョウ 改編に伴い配当年次変更 (29)
	日本語表現 101	1・2・3・4前		2								兼1
	日本語表現 102	1・2・3・4後		2								兼1
	フランス語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	フランス語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	ドイツ語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	ドイツ語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	スペイン語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	スペイン語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	中国語 101	1・2・3・4前		2								兼1
中国語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
小計(18科目)		—	0	52	0	0	0	0	0	0	兼8 兼9	—

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	学校経営と学校図書館	3・4前		2							兼1	
	学校図書館メディアの構成	2・3・4前		2							兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4前		2							兼1	
	読書と豊かな人間性	2・3・4後		2							兼1	
	情報メディアの活用	2・3・4前・後		2							兼1	
	生涯学習概論	2・3・4前		2							兼1	
	図書館概論	2・3後 2・3前		2							兼1	US科目 (全学共通科目) がキョウ A改編に伴い配当年度変更 (29)
	図書館情報技術論	3・4後		2							兼1	
	図書館制度・経営論	3・4前		2							兼1	
	図書館サービス概論	2・3前 2・3後		2							兼1	US科目 (全学共通科目) がキョウ A改編に伴い配当年度変更 (29)
	情報サービス論	2・3・4後		2							兼1	
	児童サービス論	3・4前 3・4後		2							兼1	US科目 (全学共通科目) がキョウ A改編に伴い配当年度変更 (29)
	情報サービス演習A	3・4前		1							兼1	
	情報サービス演習B	3・4前		1							兼1	
	図書館情報資源概論	2・3後		2							兼1	
	情報資源組織論	2・3前		2							兼1	
	情報資源組織演習A	2・3・4後		1							兼1	
	情報資源組織演習B	2・3・4後		1							兼1	
	図書館情報資源特論	3・4前		1							兼1	
	図書・図書館史	2・3・4前		1							兼1	
	図書館施設論	3・4後		1							兼1	
	社会教育の基礎	2・3後		2							兼1	
	社会教育計画	2・3前		2							兼1	
	社会教育方法論	2・3後		2							兼1	
	社会教育実習	2後		2							兼1	
	社会教育課題研究	3前		2							兼1	
	現代社会と社会教育	2・3後		2							兼1	
	社会体育論	2・3前		2							兼1	
	博物館概論	2前		2							兼1	
	博物館経営論	2後		2							兼1	
	博物館資料論	2後		2							兼1	
	博物館資料保存論	2前		2							兼1	
	博物館展示論	2前		2							兼1	
	博物館教育論	2後		2							兼1	
	博物館情報・メディア論	2後		2							兼1	
	博物館実習	3前・後		3							兼1	
小計 (36 科目)		—	0	66	0	0	0	0	0	0	兼18	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
100 番台科目	言語表現入門A	1前	2			2 -3	1		1 -0		教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
	日本文学概論	1前・後	2				1 -0		0 -1		鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	言語表現入門B	1後	2			2 -3	1		1 -0		教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
	学術情報リテラシー	1後		2		0 -1	1 -0				専任教員の新規採用に伴う担当者変更(29)
	キャリアナビゲーション	1前		1			4		0		教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更及び追加(29) 鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	現代社会の諸問題	1後		2		1					
	小計(6科目)	—	6	5	0	4	4 -1	0	1 -2	0	兼0
専門科目群 200 番台科目	日本文学史	2前		2			1 -0		0 -1		鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	漢文学	2後		2							兼1
	日本語文法論Ⅰ	2前		2							兼2
	日本語文法論Ⅱ	2後		2							兼1
	日本古典文学演習	2前		2		1					
	日本近代文学演習	2後		2			1 -0		0 -1		鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	書写	2後		2							兼1
	国語科指導法Ⅰ	2後		2		1			1		
	異文化間コミュニケーション	2前		2							兼1
	世界文学	2前		2			1 -0		0 -1		鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	メディアと文化表現	2後		2							兼1
	ロジカルシンキング	2前		2			1				
	クリティカルシンキング	2後		2		1					
	クリティカルリーディング	2前		2		1					
	議論ストラテジー	2後		2		1					
	スクールインターンシップA	2前		2		1			1		
	スクールインターンシップB	2後		2		1			1		
	インターンシップA	2・3前		2		2	1				
	インターンシップB	2・3前		1		2	1				
	インターンシップC	2・3後		2		2	1				
	インターンシップD	2・3後		1		2	1				
	キャリアセミナーA	2後 2前	2			4 -2	4 -0		1 -1		教育効果を図るため配当年次変更(29) 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加(29) 鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
キャリアセミナーB	2後	2			2	0		1		教育効果を図るため配当年次変更及び300番台科目群に移行(29)	
小計(22科目) (23科目)	—	2 4	40	0	4	4 -1	0	1 -2	0	兼7	科目300番台科目群に移行したことに伴う科目数の変更(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
300 番台科目	キャリアセミナーB	3前 2後	2			4	4					教育効果を図るため配当年次変更及び200番台科目群より移行(29) 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加(29) 鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	日本古典文学研究	3前	2			1						
	日本近代文学研究	3後	2				1 0		0	1		鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	日本語史	3前	2				1 0					兼0 兼1
	日本語学演習	3後	2				1 0					兼0 兼1
	日本語語彙論	3前	2				1 0					兼0 兼1
	日本語音韻論	3後	2									兼1
	国語科指導法Ⅱ	3前	2			1			1			
	ランゲージアーツセミナーA	3前	2			4	4 1		1	2		教員の新規採用に伴う科目担当者追加(29) 鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	ランゲージアーツセミナーB	3後	2			4	4 1		1	2		
	教育現場研究	3前	2						1			
	現代思想と言語	3後	2				1					
	英語で読む日本文学	3後	2									兼1
	広告と言語	3前	2									兼1
	テクノロジーと言語	3前	2			1						
	プレゼンテーション技法	3後	2									兼1
	情報編集デザイン	3前	2									兼1
	読み書きの認知と指導	3後	2									兼1
	スクールインターンシップC	3前	2			1			1			
	スクールインターンシップD	3後	2			1			1			
	国語科指導法Ⅲ	3後	2			1			1			
21 小計(20科目)	—	4	36	0	4	4 1	0	1	2	0	兼5 兼6	科目200番台科目群より移行したことに伴う科目数の変更(29)
400 番台科目	国語科指導法Ⅳ	4前	2			1			1			
	レトリック探求	4後	2			1						
	音声表現法研究	4前	2									兼1
	日本語学研究	4後	2				1 0					兼0 兼1
	言語表現教育研究	4前	2			1						
	批評理論	4後	2									兼1
	ランゲージアーツセミナーC	4前	2			4	4 1		1	2		教員の新規採用に伴う科目担当者追加(29) 鈴木美穂(助教)が准教授に昇格(29)
	ランゲージアーツセミナーD	4後	2			4	4 1		1	2		
ランゲージアーツプロジェクト	4後	2			4	4 1		1	2			
小計(9科目)	—	0	18	0	4	4 1		1	2	0	兼2 兼3	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職関連科目群	日本国憲法	1前		2								兼1
	体育	1・2後		1								兼1
	教職概論	1後		2								兼3
	教育原理	1前		2								兼3
	学習・発達論	1後・2前		2								兼3
	教育の制度と経営	1後・2前		2								兼3
	教育課程編成論（中・高）	2・3後		2								兼3
	道德教育の理論と方法（中）	3前・後		2								兼3
	特別活動の理論と方法（中・高）	3前		2								兼2
	教育の方法と技術（中・高）	1後・2前		2								兼3
	生徒・進路指導の理論と方法（中・高）	2・3後		2								兼1
	教育相談の理論と方法（中・高）	2前・後		2								兼2
	教職実践演習（中・高）	4後		2		1						
	教育哲学	1・2後		2								兼1
	教育史概論	1・2後		2								兼1
	発達心理学	1・2・3後		2								兼1
	特別支援教育	1・2・3後		2								兼1
	教育心理学	1・2後		2								兼1
	教育社会学	1・2後		2								兼1
	教育行政学	1・2後		2								兼1
	教育方法学（中・高）	1・2後		2								兼1
	教育実習（中学校）	3後～4前		5		1						
	教育実習（高等学校）	3後～4前		3		1						
	コンピュータと学習支援（中・高）	2・3前・後		2								兼1
	教職演習A	4前		1								兼1
	教職演習B	4後		1								兼1
	精神保健	2・3・4前・後		2								兼1
	生命と性の教育	2・3・4前・後		2								兼1
	異文化理解と教育	2・3・4前・後		2								兼1
小計（29科目）		—	0	59	0	1	0	0	0	0	兼31	—
275				525			4		1		兼139	
合計（ 241 科目）		—	21	461	0	4	1	0	2	0	兼129	—

（注）・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）

・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 13	科目 228	科目 0	科目 241	科目 13 [±0]	科目 262 [±34]	科目 0 [±0]	科目 275 [±34]	

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{241} = \boxed{0.00}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	<共有する他の学校の名称・収容定員・校地面積基準> 玉川学園高等部 795人 13,020㎡ 玉川学園中学部 795人 10,696㎡ 玉川学園小学部 1,200人 9,567㎡ 玉川学園幼稚園部 190人 1,000㎡		
	校舎敷地	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡			
	運動場用地	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡			
	小 計	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡			
	そ の 他	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡			
	合 計	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 解体及び用途変更のため。機能は既存校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響は全くない。(29)			
	128,478.19 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	128,478.19 ㎡				
	(123,580.50 ㎡) (128,478.19 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(123,580.50 ㎡) (128,478.19 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 解体及び用途変更のため。機能は既存校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響は全くない。(29)		
	107 室 129 室	69 室 72 室	224 室 225 室	5 室 (補助職員 2 人)	7 室 (補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員を2名新規採用したことに伴い研究室2室増加。(29)		
	文学部 国語教育学科		9 室 7 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 教育の充実のため、図書等を購入。電子ジャーナルの算出方法を文部科学省による「学術情報基盤実態調査」に合わせたため数値は減少となっているが、学生への影響は全くない。(29)
	文学部 国語教育学科	961,999 [304,437]	8,875 [2,176]	39,008 [38,950]	32,121	8,791	7	
		(937,725 [300,880])	(8,696 [2,184])	(11,048 [10,481])	(31,959)	(9,463)		
		(937,774[300,891])	(8,695[2,164])	(39,008[38,950])	(32,121)	(8,791)	(7)	
	計	961,999 [304,437]	8,875 [2,176]	39,008 [38,950]	32,121	8,791	7	
	(937,725 [300,880])	(8,696 [2,184])	(11,048 [10,481])	(31,959)	(9,463)			
	(937,774[300,891])	(8,695[2,164])	(39,008[38,950])	(32,121)	(8,791)	(7)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,022.42 ㎡	1,040 席		1,301,220 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,226.96 ㎡	名 称	所 在 地	設 置 年 月	規 模			
		屋内プール	東京都町田市 玉川学園 六丁目 1番1号	昭和47年8月	2,766.30 ㎡			
		弓道場		昭和41年9月	1,314.00 ㎡			
		洋弓場		昭和59年3月	2,053.00 ㎡			
ゴルフ場	昭和38年7月	4,862.00 ㎡						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整のため当該学科の予算に増減が発生した。(29)
		教員 1 人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	3,348 千円 3,044 千円	2,940 千円 3,100 千円	3,100 千円	
		共 同 研 究 費 等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	0 千円	1,500 千円 0 千円	0 千円	
学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
	1666.2 千円	1426.2 千円 1570.2 千円	1436.2 千円 1580.2 千円	1446.2 千円 1590.2 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	玉川大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語教育学科	4	60	—	60	学士(文学)	1.20	平成29年度		
英語教育学科	4	80	—	240	学士(文学)	1.03	平成27年度		
人間学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成14年度		文学部人間学科は平成29年4月より学生募集停止
比較文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成18年度		文学部比較文化学科は平成27年4月より学生募集停止
農学部									
生産農学科	4	165	—	165	学士(農学)	1.00	平成29年度		
環境農学科	4	70	—	70	学士(農学)	0.72	平成29年度		
先端食農学科	4	70	—	70	学士(農学)	1.01	平成29年度		
生物資源学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	昭和24年度		農学部生物資源学科は平成27年4月より入学定員変更 90→105
生物環境システム学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	農学部生物環境システム学科は平成27年4月より入学定員変更 60→70
生命化学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度		農学部生命化学科は平成27年4月より入学定員変更 100→110
工学部									
情報通信工学科	4	60	—	60	学士(農学)	1.05	平成29年度		
ソフトウェアサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.37	平成20年度		工学部ソフトウェアサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
マネジメントサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.49	平成16年度		工学部マネジメントサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
エンジニアリングデザイン学科	4	60	—	180	学士(工学)	0.85	平成27年度		
機械情報システム学科	4	—	—	220	学士(工学)	—	平成20年度		工学部機械情報システム学科は平成27年4月より入学定員変更 100→60

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営学部 国際経営学科	4	130	—	520	学士(経営学)	1.30	平成13年度		
教育学部 教育学科	4	240	—	960	学士(教育学)	1.20	平成14年度		
乳幼児発達学科	4	75	—	275	学士(教育学)	1.17	平成15年度		教育学部乳幼児発達学科は平成27年4月より入学定員変更 50→75
芸術学部 パフォーマンス・アーツ学科	4	130	—	520	学士(芸術学)	1.07	平成14年度		芸術学部パフォーマンス・アーツ学科は平成26年4月より入学定員変更 120→130
メディア・デザイン学科	4	90	—	360	学士(芸術学)	1.12	平成26年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	
芸術教育学科	4	50	—	200	学士(芸術学)	1.10	平成26年度		
音楽コース	4	30	—	120	学士(芸術学)	1.28			
美術・工芸コース	4	20	—	80	学士(芸術学)	0.82			
メディア・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成18年度		芸術学部メディア・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
ビジュアル・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成14年度		芸術学部ビジュアル・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
リハビリアート学部 リハビリアート学科	4	160	—	640	学士(リハビリアート)	1.14	平成19年度		
観光学部 観光学科	4	90	—	360	学士(観光学)	1.26	平成25年度		
教育学部 教育学科通信教育課程	4	1,500	—	6,000	学士(教育学)	0.04	平成14年度		

大学の名称	玉川大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学研究科									
人間学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.10	平成22年度		
英語教育専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(文学)	0.63	平成22年度		
農学研究科									
資源生物学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士(農学)	0.87	昭和52年度		
資源生物学専攻 (博士課程後期)	3	4	—	12	博士(農学)	0.25	昭和54年度		
工学研究科									
機械工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.09	昭和42年度		
電子情報工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.18	昭和42年度	東京都町田市玉川学園 六丁目1番1号	
システム科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学)	0.11	平成19年度		
マネジメント研究科									
マネジメント専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(マネジメント)	0.35	平成17年度		
教育学研究科									
教育学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士(教育学)	1.40	平成18年度		
教職専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.07	平成20年度		
脳科学研究科									
心の科学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(工学) 修士(学術)	0.60	平成26年度		
脳科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学) 博士(学術)	0.25	平成26年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 文学部 国語教育学科 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	木タ アキラ 太田 明	平成29年4月	言語表現入門A 言語表現入門B キャリアナビゲーション※ 議論ストラテジー キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※ ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB テクノロジーと言語 レトリック探求 言語表現教育研究 ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト						
専	教授	カシマ ミホ 茅島 路子	平成29年4月	言語表現入門A 言語表現入門B 学術情報リテラシー キャリアナビゲーション※ インターンシップA インターンシップB インターンシップC インターンシップD ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト	専 専	助教 准教授	シノヅキ ユウスケ 篠崎 祐介 フジイ ユミ 富士池 優美	平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月	言語表現入門A 言語表現入門B 学術情報リテラシー キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者変更 (29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	カタコウジ 中田 幸司	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 キャリアナビゲーション※ 日本古典文学演習 国語科指導法Ⅰ スクールインターンシップA スクールインターンシップB 日本古典文学研究 国語科指導法Ⅱ ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB スクールインターンシップC スクールインターンシップD 国語科指導法Ⅲ 国語科指導法Ⅳ ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト 教職実践演習(中・高) 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)	専	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成29年4月	一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目] キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	ハセガリ ヨシノ 長谷川 洋二	平成29年4月	言語表現入門A 言語表現入門B キャリアナビゲーション※ 現代社会の諸問題 クリティカルシンキング クリティカルリーディング インターンシップA インターンシップB インターンシップC インターンシップD キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※ ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト					一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	准教授	ハヤシ ダイゴ 林 大悟	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 ロジック 言語表現入門A 言語表現入門B キャリアナビゲーション※ ロジカルシンキング インターンシップA インターンシップB インターンシップC インターンシップD ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB 現代思想と言語 ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト	専	准教授	フジイ ユミ 富士池 優美	平成29年4月	一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目] キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	シザキ ユウスケ 篠崎 祐介	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 玉川の教育 キャリアナビゲーション※ 国語科指導法Ⅰ スクールインターンシップA スクールインターンシップB 国語科指導法Ⅱ ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB 教育現場研究 スクールインターンシップC スクールインターンシップD 国語科指導法Ⅲ 国語科指導法Ⅳ ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト					言語表現入門A 言語表現入門B キャリアナビゲーション※ キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 受講者数と開講クラスの減に伴う科目担当者の削除(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	助教	ススキミホ 鈴木 美穂 (増田 美穂)	平成29年4月	名著講読 (人文科学) 日本文学概論 キャリアナビゲーション※ 日本文学史 日本近代文学演習 世界文学 キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※ 日本近代文学研究 ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト						
兼担	教授	アキ アツオ 青木 敦男	平成29年4月	ことばと文化						
兼担	教授	アミノ コウイチ 網野 公一	平成29年4月	比較文化論	兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
兼担	教授	アントウ マサキ 安藤 正紀	平成29年4月	特別支援教育						
兼担	教授	イムラ ヨシカズ 磯村 宜和	平成29年4月	マイクロ脳科学						
兼担	教授	エリガチ カントウ 江里口 歡人	平成29年4月	教育の制度と経営	兼担	准教授	エトウ サタムネ 湯藤 定宗	平成29年4月	教育の制度と経営	平成29年4月 教職認定における指導に伴う 科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	オキ エイチ 大木 栄一	平成31年4月	キャリア・マネジメント	兼担	教授	オキ エイチ 大木 栄一	平成29年4月	インターンシップA 〔全学共通科目〕 インターンシップB 〔全学共通科目〕 インターンシップC 〔全学共通科目〕 インターンシップD 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) の シラバス改編により科目追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	オカベ ヒデトシ 大久保 英敏	平成30年4月	エネルギー科学						
兼担	教授	オガラ ヤスキ 小倉 康之	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼担	教授	オサノ ケイ 小佐野 圭	平成29年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ						
兼担	教授	カキザキ ヒロカ 柿崎 博孝	平成30年4月	博物館経営論						
兼担	教授	カワサキ トシキ 川崎 登志喜	平成30年4月	社会体育論						
兼担	教授	カワモリ シゲヒロ 川森 重弘	平成29年4月	科学入門※						
兼担	教授	クロダ ケイジ 黒田 潔	平成29年4月	物理学入門 物理学実践 科学入門※					物理学実践 実践の物理学 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が システム改編に伴い科目名変更 (29)
兼担	教授	コタベ シンイチ 小田部 進一	平成30年4月	キリスト教学	兼担	教授	コタベ シンイチ 小田部 進一	平成29年4月	世界の宗教と文化 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が システム改編により科目追加 (29)
兼担	教授	コバヤシ マコト 小林 亮	平成29年4月	学習・発達論	兼任	講師	キウチ アキ 木内 亜紀	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	コバヤシ ユキオ 小林 幸夫	平成29年4月	政治学 日本国憲法						
兼担	教授	コンドウ ヨウコ 近藤 洋子	平成30年4月	生命と性の教育						
兼担	教授	サカノ シンジ 坂野 慎二	平成29年4月	教育の制度と経営 教育課程編成論（中・高） 教育行政学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	サクマ ヒロユキ 佐久間 裕之	平成29年4月	全人教育論 教職概論 教育原理 道徳教育の理論と方法（中） 教育哲学	兼任	講師	イシイ キヨフミ 石井 清文	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	スズキ ヤスユキ 鈴木 康之	平成30年4月	コーオプ・プログラム						
兼担	教授	ソヤマ タケシ 曾山 毅	平成29年4月	観光学入門						
兼担	教授	タカシ ハジメ 高須 一	平成29年4月	音楽理論	兼担	教授	ノモト ユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職（平 成28年5月急逝のため）に伴 い変更（29）
兼担	教授	タカヒラ サユリ 高平 小百合	平成29年4月	発達心理学 教育心理学						
兼担	教授	タニ カズキ 谷 和樹	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）						
兼担	教授	タハラ シュンジ 田原 俊司	平成30年4月	教育相談の理論と方法（中・高）						
兼担	教授	タニジメ 丹治 めぐみ	平成31年4月	英語で読む日本文学						
兼担	教授	トシガキ ジュンイチ 富永 順一	平成29年4月	自然科学7科目ミックス（リーディング） 自然科学7科目ミックス（ライティング） 情報メディアの活用 コンピュータと学習支援（中・高）						
兼担	教授	ナカイ エツコ 永井 悦子	平成30年4月	日本語文法論Ⅰ 日本語文法論Ⅱ 日本語学研究	専	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成32年4月	日本語学研究	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更（29）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	カニシ シゲル 中西 茂	平成29年4月	マスメディアと社会						
兼担	教授	カハラ カオリ 中村 香	平成29年4月	ボランティア概論 生涯学習概論 社会教育実習 社会教育課題研究						
兼担 ①	教授	カハラ サトシ 中村 聡	平成30年4月	漢文学						
兼任 ②	講師	カハベ ユウダイ 川邊 雄大	平成32年4月	漢文学						
兼担	教授	カヤマ ツヨシ 中山 剛史	平成29年4月	哲学						
兼担	教授	ニリノ ヒロエ 庭野 裕恵 (庭野 裕恵)	平成29年4月	病理学						
兼担	教授	ネギミ アキラ 根上 明	平成29年4月	ピアリーダー 環境教育ワークショップⅠ 環境教育ワークショップⅡ						
兼担	教授	ノト ユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽史					音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職（平 成28年5月急逝のため）に伴 い変更（29）
兼担	教授	ハシモト ジュンイチ 橋本 順一	平成30年4月	情報管理論						
兼担	教授	ハヤシ タカキ 林 卓行	平成29年4月	美術理論 現代文化論	兼任 講師	ハヤシ タカキ 林 卓行	平成29年4月			平成29年4月 林卓行兼担教授の退職（平 成29年3月自己都合のため） に伴い変更（29）
					兼担 准教授	アリゲンタン 有原探 ジェラード	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕		平成29年4月 林卓行兼担教授の退職（平 成29年3月自己都合のため） に伴い変更（29）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	ハラダ マリ 原田 真理	平成30年4月	教育相談の理論と方法（中・高） 精神保健						
兼担	教授	マツダ テツヤ 松田 哲也	平成29年4月	マクロ脳科学						
兼担	教授	マツモト ヒロフミ 松本 博文	平成29年4月	国際研究A 国際研究B 国際研究C 国際研究D 国際研究E 国際研究F						
兼担	教授	モリヤ セイジ 守屋 誠司	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	兼任	講師	サイトウ モエギ 齋藤 萌木	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	モリヤマ ケンイチ 森山 賢一 (都築 賢一)	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	兼任	講師	タカハシ ミエコ 高橋 美恵子	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	ヤギハシ ノブヒロ 八木橋 伸浩	平成29年4月	歴史（日本） 博物館資料論						
兼担	教授	ヤマグチ オキトモ 山口 意友	平成29年4月	教育原理 道徳教育の理論と方法（中）						
兼担	教授	ヤマグチ ケイスケ 山口 圭介	平成29年4月	教職概論 道徳教育の理論と方法（中）						
兼担	教授	ヤマグチ シュウジ 山口 修二	平成30年4月	科学技術社会論						
兼担	教授	ワタナベ マサヒコ 渡邊 正彦	平成29年4月	日本文学 日本語表現 102	兼任	講師	コウノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	伊カリ ナホ 市川 直子	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	イトウ リョウジ 伊藤 良二	平成29年4月	会計学						
兼担	准教授	ウノ ケイ 宇野 慶	平成30年4月	博物館情報・メディア論						
兼担	准教授	オホタニ チェ 大谷 千恵	平成30年4月	異文化理解と教育						
兼担	准教授	オハラ カズヒト 小原 一仁	平成29年4月	教職概論	兼任	講師	タカハシ ノブム 高橋 望	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	准教授	カツオ アキヒト 勝尾 彰仁	平成29年4月	生物学入門 名著講読(自然科学)						
兼担	准教授	カワモト カズタカ 川本 和孝	平成30年4月	現代社会と社会教育 特別活動の理論と方法(中・高)						
兼担	准教授	カノ カズオ 菅野 和郎	平成30年4月	博物館資料保存論						
兼担	准教授	クドウ ワタル 工藤 亘	平成29年4月	健康教育 生涯スポーツ演習					体育	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	准教授	コジマ サエコ 小島 佐恵子 (宮崎 佐恵子)	平成29年4月	二年次セミナー201 三年次セミナー302 社会科学フロンティアミックス(リーディング) 社会科学フロンティアミックス(ライティング) 教育社会学	兼任	講師	ヤウチ コトエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学フロンティアミックス(リーディング) [全学共通科目] 社会科学フロンティアミックス(ライティング) [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更(29)
					兼任	講師	オオタ ヒロキ 太田 拓紀	平成29年4月	教育社会学	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	ゴットアルド、マルコ	平成30年4月	宗教学						
兼担	准教授	コモリ ソウスケ 小森 創介	平成32年4月	音声表現法研究						
兼担	准教授	コヤマ ユウイチロウ 小山 雄一郎	平成29年4月	フィールドワークA フィールドワークB フィールドワークC						
兼担	准教授	サトウ カズオ 佐藤 一臣	平成29年4月	化学入門 科学入門※						
兼担	准教授	サトウ ユキ 佐藤 由紀 (小島 由紀)	平成29年4月	コミュニケーション論 心理学						
兼担	准教授	タカハシ アイ 高橋 愛 (立花 愛)	平成30年4月	博物館教育論						
兼担	准教授	バババ シンジ 馬場 眞二	平成29年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ						
兼担	准教授	ハラノ ケンイチ 原野 健一	平成29年4月	生物学入門						
兼担	准教授	マツヤマ イロオ 松山 巖 (安藤 巖)	平成30年4月	学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 図書館概論 図書館制度・経営論 情報サービス演習B 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	ミノ カトシ 水野 貴敏	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	ムラヤマ 村山 にな	平成29年4月	美術史 博物館概論 博物館実習						
兼担	准教授	ヤマダ マサシ 山田 雅俊	平成29年4月	経営学						
兼担	准教授	ユトウ サダムネ 湯藤 定宗	平成30年4月	教育課程編成論（中・高）	兼担	准教授	ユトウ サダムネ 湯藤 定宗	平成29年4月	教育の制度と経営	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29）
兼担	助教	ウオサキ ユウコ 魚崎 祐子 (福田 祐子)	平成29年4月	読み書きの認知と指導 学習・発達論	兼担	准教授	ウオサキ ユウコ 魚崎 祐子 (福田 祐子)	平成29年4月		平成29年4月 魚崎祐子（助教）が准教授に昇格（29）
兼担	助教	スー, ジェシー	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202	兼担	助教	ユシノヨウボウ ユリ 祐乗坊 由利 (ジョディ)	平成29年4月	ELF 101 [全学共通科目] ELF 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更（29）
兼担	助教	スズキ ジュンヤ 鈴木 淳也	平成29年4月	健康スポーツ理論 体育	兼担	准教授	イノウエ ワタル 工藤 亘	平成29年4月	体育	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29）
兼担	助教	タバタ シノブ 田畑 忍	平成29年4月	教育原理 教育方法学（中・高）	兼担	准教授	タバタ シノブ 田畑 忍	平成29年4月		平成29年4月 田畑忍（助教）が准教授に昇格（29）
					兼任	講師	タコ タケシ 田子 健	平成29年4月	教育原理	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	助教	チャイクル, ラサミ	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202 ELF 301 ELF 302						
兼担	助教	ホアン テツヤ 帆足 哲哉	平成30年4月	二年次セミナー202 三年次セミナー301 名著講読(社会科学)						
兼担	助教	ムライ シンゾ 村井 伸二	平成30年4月	野外教育 社会教育の基礎 特別活動の理論と方法(中・高)	兼担	准教授	ムライ シンゾ 村井 伸二	平成29年4月		平成29年4月 村井伸二(助教)が准教授に昇格(29)
兼担	助教	ユウジ ヨシホ 祐乗坊 由利 (祐乗坊 由利)	平成30年4月	ELF 301 ELF 302 ELF 401 ELF 402	兼担	助教	ユウジ ヨシホ 祐乗坊 由利 (祐乗坊 由利)	平成29年4月	ELF 101 [全学共通科目] ELF 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
兼任	講師	アキラ アツ 有川 淳	平成30年4月	複合領域研究 201~299						
兼任	講師	アリヤマ ユミコ 有山 裕美子	平成30年4月	図書館サービス概論						
兼任	講師	イダ ユミ 池田 佑美	平成29年4月	化学入門 環境科学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	イシダ イサヲ 石出 靖雄	平成29年4月	日本語学 日本語表現 101 日本語学演習	専任	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成29年4月	日本語学 〔全学共通科目〕	平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う 担当者変更 (29)
兼任	講師	コノノ サキ 神野 紗希	平成29年4月		兼任	講師	コノノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
専任	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成32年4月		専任	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成32年4月	日本語学演習	平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う 担当者変更 (29)
兼任	講師	イトウ ヨシオ 伊藤 恵夫	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼任	講師	エシタ カスミ 江下 和章	平成29年4月	代数学入門						
兼任	講師	エトウ ケイ 江藤 圭也	平成29年4月	経済学 (国際経済を含む)						
兼任	講師	オカキ コウジ 大崎 恒次	平成29年4月	マーケティング						
兼任	講師	オノ タケシ 奥野 武志	平成29年4月	教育史概論						
兼任	講師	カツマタ ノブユキ 勝又 暢之	平成29年4月	環境教育						
兼任	講師	ガリード、カルロス (ガリード、カルロス、オーストリア)	平成29年4月	スペイン語 101 スペイン語 102	兼任	講師	タナベ マドカ 田邊 まどか	平成29年4月	スペイン語 101 〔全学共通科目〕 スペイン語 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
兼任	講師	カワサキ トシハル 川崎 敏治	平成29年4月	統計学入門						
兼任	講師	キタダ シン 岸田 真	平成29年4月	演劇史 演劇理論	兼任	助教	タナベ シンタロウ 多和田 真太良	平成29年4月	演劇理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
兼任	講師	ゴウ チュウシ 呉 仲密	平成29年4月	中国語 101 中国語 102						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	コスマ アキオ 小沼 明夫	平成29年4月	歴史（世界）						
兼任	講師	コハヤシ ハルコ 小林 晴子	平成29年4月	英語学						
兼任	講師	コハヤシ マサユキ 小林 正幸	平成29年4月	社会学						
兼任	講師	コハヤシ ユキ 小林 由紀	平成30年4月	日本語文法論 I 日本語史 日本語語彙論 日本語音韻論	専	准教授	フジウ エミ 富士池 優美	平成32年4月	日本語史 日本語語彙論	平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う 担当者変更（29）
兼任	講師	サイトウ ハルコ 齊藤 晴子	平成30年4月	博物館展示論						
兼任	講師	サイトウ ヤスリ 齋藤 泰則	平成30年4月	学校図書館メディアの構成 児童サービス論 情報サービス演習A 図書・図書館史						
兼任	講師	サカモト ヨウコ 阪本 陽子	平成30年4月	社会教育計画 社会教育方法論						
兼任	講師	シミス ヲウ 清水 聡	平成30年4月	国際関係論						
兼任	講師	センスイ ヒデアキ 泉水 英計	平成29年4月	文化人類学						
兼任	講師	タカ カオル 高田 薫	平成29年4月	学習・発達論	兼任	講師	ハラダ エリコ 原田 恵理子	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼任	講師	タテノキ ヨシカ 立脇 洋介	平成30年4月	人間関係論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	トミタ コウスケ 富田 幸祐	平成30年4月	スポーツ史						
兼任	講師	ナカト コウスケ 長門 裕介	平成32年4月	批評理論						
兼任	講師	ハキミ ユミコ 萩 裕美子	平成31年4月	栄養学						
兼任	講師	ハマダ ヒデアキ 濱田 英毅	平成29年4月	人文科学リサーチスキルズ（リーディング） 人文科学リサーチスキルズ（ライティング）						
兼任	講師	ヒナタ ヨシカズ 日向 良和	平成30年4月	図書館情報技術論 情報サービス論 図書館情報資源特論 図書館施設論						
兼任	講師	ヒラキ ヤスカ 平木 康隆	平成30年4月	地球科学 宇宙科学						
兼任	講師	フカヤ シンスケ 深谷 信介	平成31年4月	広告と言語 プレゼンテーション技法						
兼任	講師	フジタ トモコ 藤田 智子	平成29年4月	マルチメディア表現	兼任	講師	タチノ タカシ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更（29）
兼任	講師	マエカワ シツ 前川 志津	平成30年4月	異文化間コミュニケーション						
兼任	講師	マシモト ナオミ 舩本 直文	平成29年4月	オリンピック文化論						
兼任	講師	マツオ トモアキ 松尾 知明	平成30年4月	教育課程編成論（中・高）						
兼任	講師	マツナガ ミツオ 松永 光雄	平成29年4月	法学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ミヤザワ ヨシヒ 宮澤 義臣	平成29年4月	ドイツ語 101 ドイツ語 102						
兼任	講師	ミヤカミ ノブミ 宮永 望	平成29年4月	数学入門 解析学入門						
兼任	講師	ミヨウカミ ミチコ 茗荷 美知子	平成29年4月	情報科学入門 データ処理						
兼任	講師	メグロ 目黒 ゆりえ (花川 ゆりえ)	平成29年4月	外国文学 フランス語 101 フランス語 102						
兼任	講師	モリ タカシ 森 貴志	平成30年4月	メディアと文化表現 情報編集デザイン						
兼任	講師	ヤマグチ 山口 アンナ	平成29年4月	ネットワーク入門						
兼任	講師	ヤマシタ ナホ 山科 直子	平成30年4月	科学史						
兼任	講師	ヤマダ トモコ 山田 朋子	平成29年4月	教育の制度と経営						
兼任	講師	ヤマダ トモキ 山田 智之	平成30年4月	生徒・進路指導の理論と方法 (中・高)						
兼任	講師	ヨシダ イサオ 吉田 功	平成30年4月	書写						
兼任	講師	ヨシダ カズオ 吉田 和夫	平成32年4月	教職演習A 教職演習B						
兼任	講師	ヨシタケ ミツオ 吉武 光雄	平成29年4月	倫理学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	准教授	キタハラ ヒロオ 北原 博雄	平成29年4月	一年次セミナー101 <small>[全学共通科目]</small> 一年次セミナー102 <small>[全学共通科目]</small> 日本語学 <small>[全学共通科目]</small> キャリアナビゲーション※ キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※ 日本語学演習 ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB 日本語学研究 ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト	平成29年4月 北原博雄(准教授)を専任教員として新規採用(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者変更(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29)
					専	准教授	フジウ エミ 富士池 優美	平成29年4月	一年次セミナー101 <small>[全学共通科目]</small> 一年次セミナー102 <small>[全学共通科目]</small> 学術情報リテラシー キャリアナビゲーション※ キャリアセミナーA※ キャリアセミナーB※ 日本語史 日本語語彙論 ランゲージアーツセミナーA ランゲージアーツセミナーB ランゲージアーツセミナーC ランゲージアーツセミナーD ランゲージアーツプロジェクト	平成29年4月 富士池優美(准教授)を専任教員として新規採用(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者変更(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者変更(29) 平成29年4月 専任教員の新規採用に伴う担当者追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼担	教授	イイ キョウコ 石井 恭子	平成29年4月	教育インターンシップA 〔全学共通科目〕 教育インターンシップB 〔全学共通科目〕 教育インターンシップC 〔全学共通科目〕 教育インターンシップD 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼担	教授	オカモト コウイチロウ 岡本 裕一朗	平成29年4月	人工知能と社会 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼担	教授	テルヤ 照屋 さゆり (青木 さゆり)	平成29年4月	STEM入門（科学と社会） 〔全学共通科目〕 プレゼンテーションスキル 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼担	教授	ナガイ エツコ 永井 悦子	平成29年4月	Japanese Studies Overseas A 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas B 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas C 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトA 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトB 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトC 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトD 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトE 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトF 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） がカリキュラム改編により科目 追加 (29)
					兼担	教授	ナンバ カツミ 難波 克己	平成29年4月	TAPファシリテーション I 〔全学共通科目〕 TAPファシリテーション II 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） がカリキュラム改編により科目 追加 (29)
					兼担	准教授	アリゲンタン 有楽 傑 ジェラード	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 林卓行兼担教授の退職（平 成29年3月自己都合のため） に伴い変更 (29)
					兼担	准教授	タカ モトコ 田中 素子	平成29年4月	日本学入門 〔全学共通科目〕 Japanology 〔全学共通科目〕 Japanese Pop Culture 〔全学共通科目〕 Modern Japanese History 〔全学共通科目〕 East Asian History 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） がカリキュラム改編により科目 追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	ミヤザキ マユ 宮崎 真由	平成29年4月	市民社会と法 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が キョウ改編により科目追加 (29)
					兼任	准教授	リア, スティーブ	平成30年4月	Issues in Japanese Studies A 〔全学共通科目〕 Issues in Japanese Studies B 〔全学共通科目〕 Academic Communication 〔全学共通科目〕 Presentation Skills in English 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） がキョウ改編により科目 追加 (29)
					兼任	助教	タカ シンリョウ 多和田 真太良	平成29年4月	演劇理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
					兼任	講師	アラ カズヨシ 荒 一能	平成29年4月	民俗学入門 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が キョウ改編により科目追加 (29)
					兼任	講師	イシ キヨミ 石井 清文	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	オタ ヒロキ 太田 拓紀	平成29年4月	教育社会学	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	キウ アキ 木内 亜紀	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	コウ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 〔全学共通科目〕 日本語表現 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
					兼任	講師	サイノウ モエキ 齋藤 萌木	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タカハシ ノゾム 高橋 望	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タカハシ ミエコ 高橋 美恵子	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	タコ タケ 田子 健	平成29年4月	教育原理	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更(29)
					兼任	講師	タノ タケ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)
					兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 [全学共通科目] スペイン語 101 [全学共通科目] スペイン語 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)
					兼任	講師	ハラダ エリコ 原田 恵理子	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更(29)
					兼任	講師	ヤチ コエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学7科目ミックス(1-7) [全学共通科目] 社会科学7科目ミックス(7-7) [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)

- (注) ・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6 名	3 名

(注) ・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
4	1	0	2	7	4	4	0	1	9	4	4	0	1	9
(4)	(1)	(0)	(2)	(7)						[±0]	[+3]	[±0]	[Δ1]	[+2]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（A））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （B））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし

(注) ・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
該当なし				

- (注)
- ・「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される 全ての報告書に記入してください。
 - ・該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<文学部 国語教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p> <p>該当なし</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対照表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。</p>

- (注) ・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><玉川大学FD委員会規程を転載></p> <p>(目的)</p> <p>第1条 玉川大学(以下「本大学」という。)教員の、教育研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)委員会(以下「本委員会」という。)を置く。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 本委員会は、委員長、委員、事務担当をもって構成する。</p> <p>2 前項の委員長は教学部長とする。</p> <p>3 委員長及び委員等は、毎年度当初、学長がこれを委嘱する。</p> <p>4 委員長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。</p> <p>5 本委員会には学部ごとの部会を設けることができる。</p> <p>6 前項による部会は、各学部ごとに設け、部会のまとめ役及び委員は学部長が選任する。</p> <p>(任期)</p> <p>第3条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(運営)</p> <p>第4条 本委員会は、委員長が召集・開会し、議長となる。</p> <p>2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第5条 本委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項</p> <p>(5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行</p> <p>(6) 部会からの報告・審議に関する事項</p> <p>(7) その他FDに関連する事項</p>
--

(部会)

第6条 各部会は、本委員会に検討・実施事項を報告しなければならない。

(答申)

第7条 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。

(実施事項の決定)

第8条 前条の答申内容の実施については、大学部長会の議を経て学長が決定する。

(実施事項の運用)

第9条 前条により決定した実施事項に関する実際の運用に関しては、教務委員会及び教育研究活動等点検調査委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。

(事務主管)

第10条 本委員会に係る事務主管は、教学部教育学修支援課とする。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会は年間5回開催した。平成28年度は、4月、6月、9月、11月、3月にそれぞれ開催し、委員長1名、委員11名、事務担当5名が参加し審議した。委員会開催の他、授業改善のための学生による授業評価アンケート（ユニバーシティ・スタンダード科目）、ピア・レビュー（全教職員を対象にした授業参観）、第三者によるシラバス確認、FD研修（新任教員研修会、ティーチング・ポートフォリオ導入に向けた研修会、アクティブ・ラーニングに関する研修会、ルーブリック指標による評価に関する研修会、非常勤教員を対象とした研修）の開催、外部のFD研修への教職員派遣、FDerの養成、FD活動報告書作成・公表などの多岐にわたる活動を大学全体で積極的に推進した。

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会においては以下の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (6) 部会からの報告・審議に関する事項
- (7) その他FDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

平成29年度開設のため、国語教育学科では文学部長および主任会メンバー、各学科FD委員、FD担当で組織される文学部FD委員会のもと、今後下記の内容を実施する予定である。

- (1) FD研修会
- (2) 学生による授業評価アンケート
- (3) 学外セミナーへの教員派遣
- (4) 教員相互の授業参観

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

現時点で、国語教育学科としての実績はまだないが、文学部FD委員会として平成28年度に下記の通り、研修会等を実施した。

- (1) FD研修会
文学部における研究活動の意義に関する研修を、講演会を含めて行った。世界的に人文科学研究教育の意義が問い直されている状況において、玉川大学の文学部としてどのような展望があるかを確認するとともに、今後の教育研究活動への活用法を検討した。文学部の専任教員に加え、本学経営学部教員も多数参加し、他学部からの視点も参考にしながらの研修となった。
- (2) 学生による授業評価アンケート
英語教育学科の専門科目を対象に、春学期（7月）、秋学期（2月）の2回実施した。
- (3) 学外セミナーへの教員派遣
学外期間・団体が主催するセミナーへ教員を派遣した。大学コンソーシアム京都主催「第22回FDフォーラム」に1名派遣。参加者は教授会の中で報告を行い、情報の共有に努めた。
- (4) 教員相互の授業参観
秋学期に実施し、延べ13名の教員が参観を行った。参観（授業）後に意見交換の時間を設け、率直な意見のやり取りを行い、授業の質の向上に役立てた。

平成29年度は国語教育学科として、FD研修会の実施、学生による授業評価アンケートの春・秋2回の実施、学外セミナーへの参加および教員相互の授業参観の開催を計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

文学部FD委員会が継続的に行っているアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善に注力していく予定である。加えて、国語教育学科としての重点項目を洗い出し、それに対応したFD活動を継続的に行っていきたいと考える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

国語教育学科の専門科目を対象に、春学期（7月）、秋学期（1月）の2回実施する予定である。集計結果については各授業担当者にアンケート原票、クラスごとの集計結果、カテゴリーおよび全体の集計結果、各項目と総合的満足度との相関分析についてフィードバックする。

本年度から行う国語教育学科のアンケート分析結果は平成29年4月以降、随時ホームページ上で公開し、学生が閲覧できる状態にする予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

文学部国語教育学科では、国際社会の一員である自覚を持ち、母語としての日本語運用能力を高め積極的に社会に貢献できる人材、および社会の多様な場面に的確に対応しつつ国語教育を実践できる人材の養成を目指した教育を、設置計画通り、平成29年4月より実施している。

この人材養成の目的を達成するために、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成し、教職課程を履修する学生は豊かな言語観・文化観と専門的な知識を修得し、さらに、それらを駆使した実践的指導力が身に付けられるように教育課程を編成し、設置計画通り、授業科目を開設している。

また、設置計画の通り、各学期に履修登録できる単位数の上限を原則16単位と定め、単位制度の実質化を図っている。特に時間割において、授業と授業との間に空き時間を設定し予習・復習の時間を確保できるように工夫している。

このように、設置計画通りに平成29年4月より教育活動を展開している。

実際の取組の達成状況は以下の通りである。

1. 教育課程

・教育課程の編成の基本方針・考え方に基づいて、設置計画の通り、授業科目を開設した。ただし、全学共通のユニバーシティ・スタンダード科目群においては、教育の充実を図ることから開設科目の追加、名称変更、配当年次変更を行った。同じく専門科目群においては、開設科目の配当年次変更を行った。

2. 教員組織

・教員組織の編成の考え方に基づいて、設置計画の通り、専任教員を配置した。なお、平成29年4月より、さらなる教育効果を考え、2人を専任教員（准教授）として採用した。

3. 教育方法および履修指導

・英語運用能力向上のための授業の展開、主体的な学生の学びと、充実した授業展開を目指した履修科目登録上限の16単位設定、学習の質を評価するGPA制度の導入、履修ガイダンスの開催など、設置計画通りに実施している。

4. 施設・設備

・教育・研究活動に必要な施設・設備は、設置計画通りに整備した。なお、学生の主体的な学びを促進させるための施設「大学教育棟 2014」は、図書館、講義室、研究室、大学事務室をはじめとする学修支援の機能を集約した複合施設で、ラーニング・コモンズにより学生が主体的に学修できる空間を多く配置している。また隣接して食堂棟を設置している。さらに、国際共通語としての英語の学修をより充実させるための施設「ELF Study Hall 2015」は、少人数クラスやグループ学修に適した教室、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニング・ゾーン、セルフ・ラーニング・ゾーン、ラウンジなどを配置している。

5. 学生の受入れ

・計画した入学者選抜方法に基づいて、募集、試験、選抜を行い、定員を充足する学生を受け入れている。

6. 情報の公表

・設置計画の通り、人材養成等教育研究に係る目的、教育課程、海外留学の概要、入学や学習機会に関する情報などを大学案内の冊子やホームページに掲載し、広く周知を図るよう努めている。

② 自己点検・評価報告書

自己点検・評価報告書の内容として、以下の項目に関する点検、評価、改善計画を記載している。その計画をもとに改善を図り、その上で改めて点検、評価を行い、さらなる改善を行うといったPDCAサイクルのもと、毎年、教育研究活動等点検調査委員会を中心に自己点検・評価活動を行っている。

1. 理念・目的

- ・大学・学部の理念・目的・教育目標の適切性を定期的に検証するとともに、それらを教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。
- 2. 教育研究組織
 - ・教育研究組織の適切性について、理念・目的に照らして定期的に検証する。
- 3. 教員・教員組織
 - ・求める教員像および教員組織の編成方針の明確性、教育課程に相応しい教員組織の整備状況、教員の募集・採用・昇格が適切に行われていること等を検証する。また、教員の資質向上を図るための方策の適切性を検証する。
- 4. 教育内容・方法・成果
 - ・教育目標に基づき学位授与方針および教育課程の編成・実施方針を明示し、教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。また、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証する。
 - ・教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を適切に開設し教育課程を体系的に編成しているか、また、各課程に相応しい教育内容を提供しているかを検証する。
 - ・教育方法および学習指導の適切性、シラバスに基づき授業が展開されているか、成績評価と単位認定の適切性を検証する。また、教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつける。
 - ・教育目標に沿った成果が上がっているか、また、学位授与（卒業認定）は適切に行われているかを検証する。
- 5. 学生の受け入れ
 - ・学生の受け入れ方針を明示し、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行い、定期的に検証する。
 - ・適切な定員を設定し、入学を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。
- 6. 学生支援
 - ・学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関する方針を明確に定め、学生への修学支援、生活支援、および進路支援が適切に行われているかを検証する。
- 7. 教育研究等環境
 - ・教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定め、十分な校地・校舎および施設・設備を整備し、図書館、学術情報サービスが十分に機能しているかを検証する。
 - ・教育研究等を支援する環境や条件が適切に整備されているかを検証する。
 - ・研究倫理を遵守するために必要な措置がとられているかを検証する。
- 8. 社会連携・社会貢献
 - ・社会との連携・協力に関する方針を定め、教育研究の成果を適切に社会へ還元しているかを検証する。
- 9. 管理運営・財務
 - ・大学の理念・目的の実現に向けて、管理運営方針を明確に定め、明文化された規程に基づき管理運営が行われているかを検証する。
 - ・大学業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか、また、事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているかを検証する。
 - ・教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立し、予算編成及び予算執行を適切に行っているかを検証する。
- 10. 内部質保証
 - ・大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか、また、内部質保証に関するシステムを整備し適切に機能させているかを検証する。

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成28年5月1日 公表

・平成18年3月に「2005自己点検・評価報告書」を、平成23年4月に「2010自己点検・評価報告書」を作成し、本学ホームページに掲載し公表した。

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

・「2010自己点検・評価報告書」の刊行及び本学ホームページにより公表した。

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

・平成23年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の認証評価を受け、平成24年3月に適合と認定されている。次回の認証評価は平成30年度に受審する計画である。

- ・また、大学院教育学研究科教職専攻（専門職学位課程）は平成27年度に認証評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の教職大学院認証評価を受け、平成22年度に続き、2期目の適格認定を受けた。次回の認証評価は平成32年度に受審する計画である。

（注） ・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 昨年までの報告書は既に公表しているが、今回の報告書については平成29年6月30日に公表予定。）